

景況レポート

2025年1~3月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比9.2ポイントマイナス

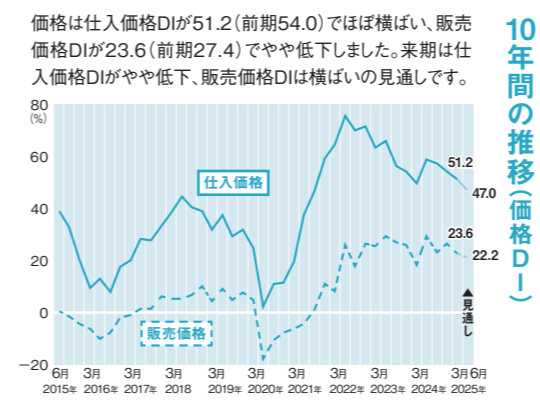
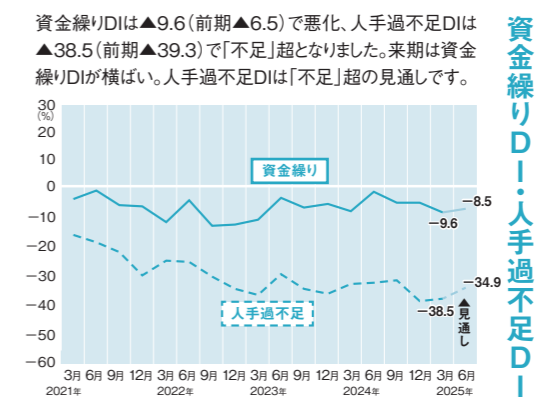
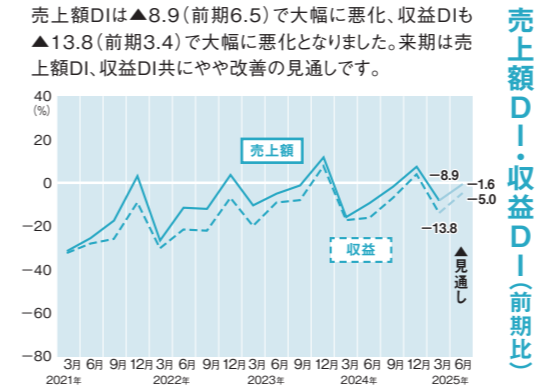
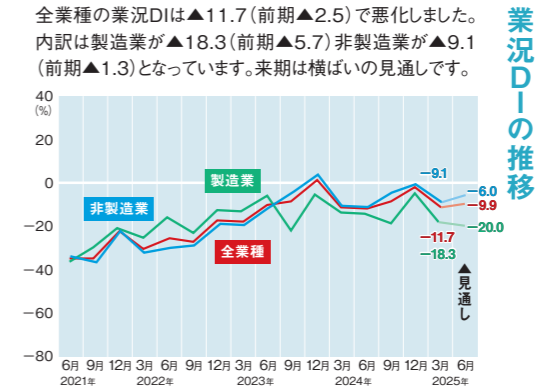
今回のアンケート調査は、企業のコスト負担が厳しさを増し、個人消費や設備投資の回復が鈍い状況下で実施いたしました。今期の全業種業況DIは▲11.7の前期比9.2ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としては悪化となりました。小売業や不動産業の業況については持ち直しの動きが見られましたが、卸売業が大幅に悪化したほか、製造業についても悪化しました。建設業については関西万博の開催を控え好調に推移してはいましたが、今期から来期にかけては減速の動きが見られます。政府は賃上げの促進や中小企業支援を進めていますが、景気の本格的な回復には時間を要する見通しです。また、1月に就任したトランプ大統領の関税政策の見直しにより、日本の輸出産業への影響が懸念されています。今後は、米国の通商政策や国内物価動向に注視し、コスト増や市場環境の変化に適応する対応力が求められます。

調査要領	合計			製造業			小売業			建設業			卸売業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1583社	436社	27.5%	355社	120社	33.8%	253社	55社	21.7%	287社	74社	25.8%	284社	75社	26.4%

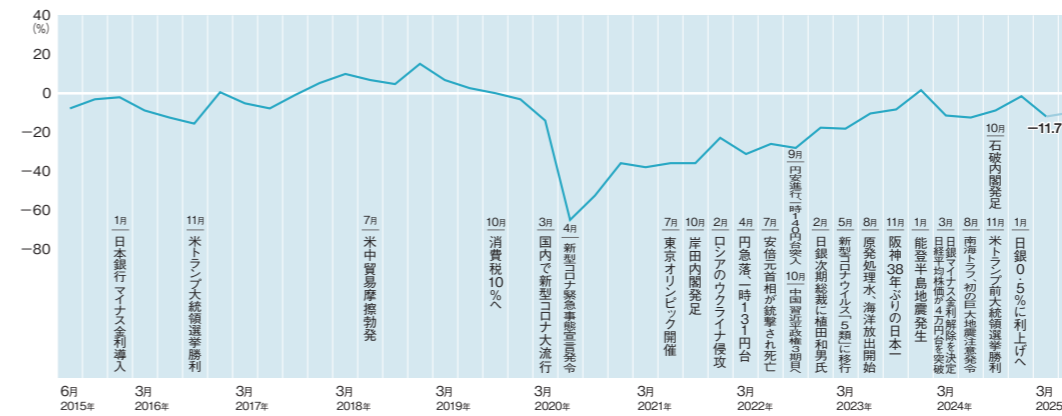
調査時点 / 2025年2月12日~3月6日
 調査依頼先 / 当庫取引先
 調査方法 / 郵送調査
 調査対象期間 / [今期] 2025年1月~3月
 [前期] 2024年10月~12月
 [来期] 2025年4月~6月
 分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
 ※DI: Diffusion Index (デフュージョン・インデックス)

全業種総合DI

業況は悪化、
来期は横ばいの見通し



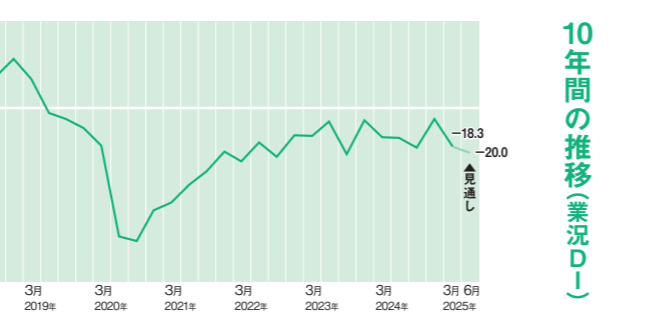
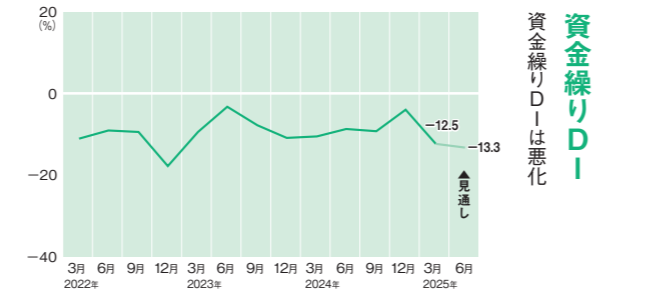
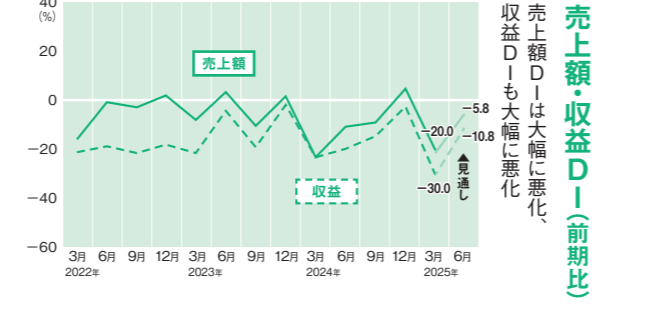
10年間の推移(業況DI)



前期 ☁️
 今期 ☁️
 見通し ☁️

製造業

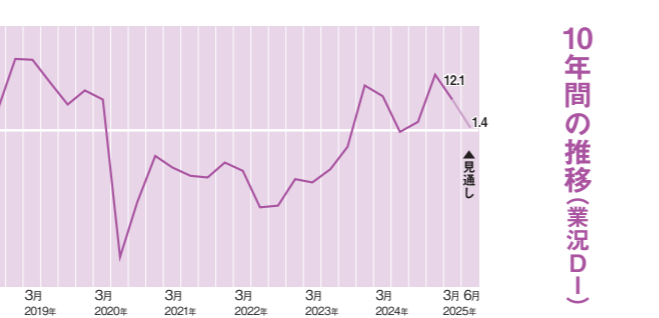
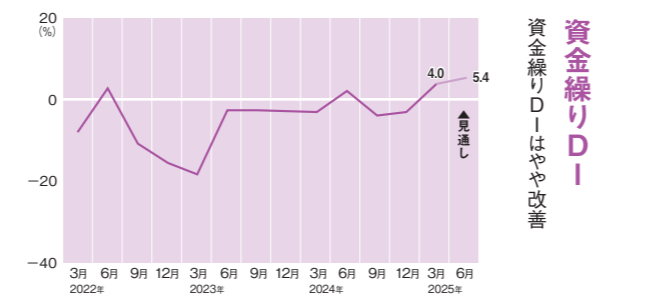
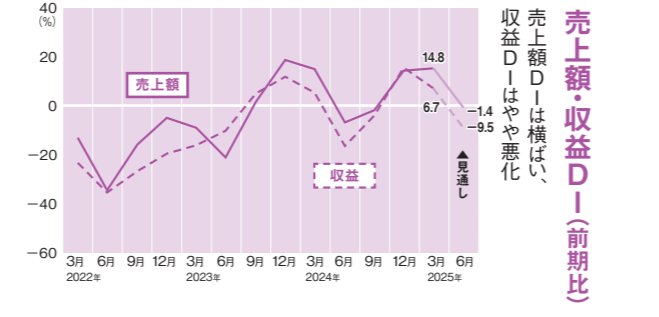
業況は悪化、
来期は横ばいの見通し



前期 ☁️
 今期 ☁️
 見通し ☁️

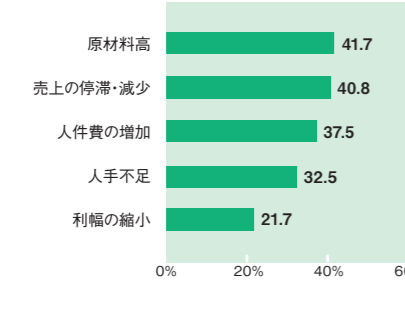
建設業

業況はやや悪化、
来期は悪化の見通し

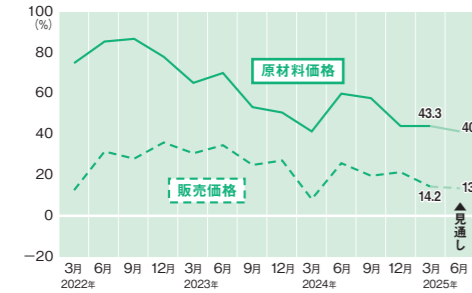


前期 ☁️
 今期 ☁️
 見通し ☁️

経営上の問題点

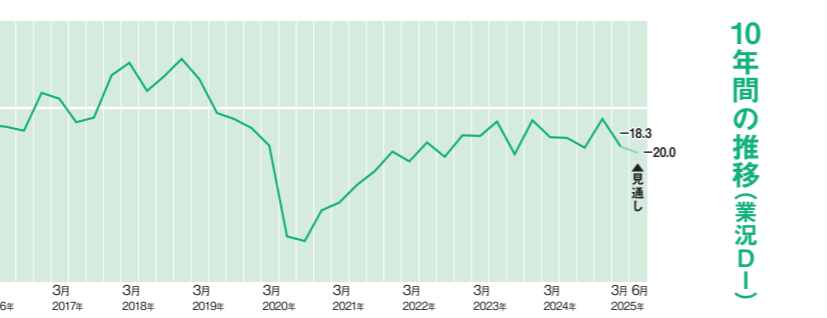


原材料価格DIは横ばい、
販売価格DIはやや低下

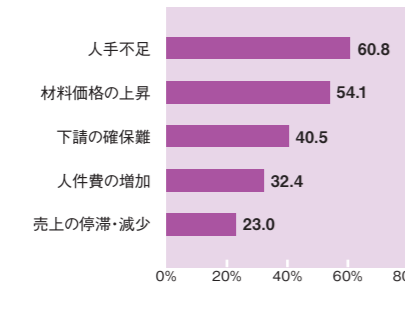


お客様の声

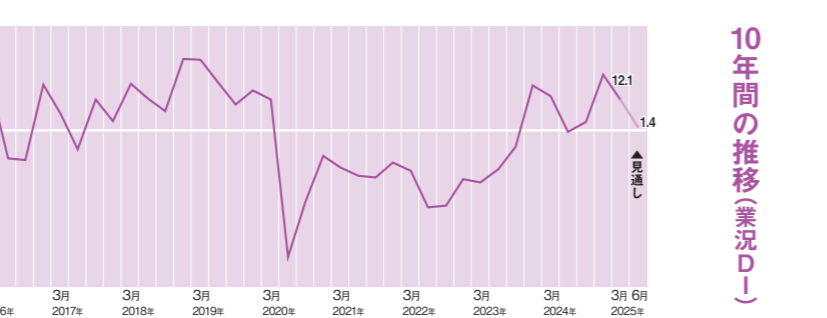
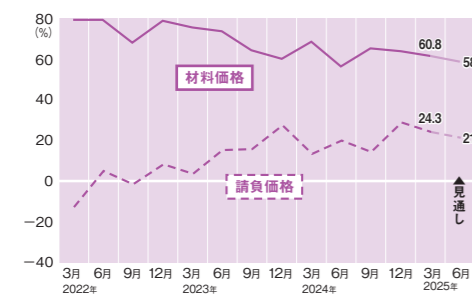
- 売上が減少しているが、社員が1名減少したため利益は確保している。今後売上が増加すれば増員の必要がある。(摂津市 紙管製造業)
- 当社は小規模ながら特殊な製品のためあまり景気に左右されない。(川西市 機械部品製造業)
- 売上は変わらないが資金は上げる必要があり困っている。(尼崎市 建具製造業)
- 原材料である海苔が高騰しており収益を圧迫している。得意先との価格交渉がポイントとなる。(大阪市 海苔製造業)



経営上の問題点



材料価格DIはほぼ横ばい、
請負価格DIはやや低下

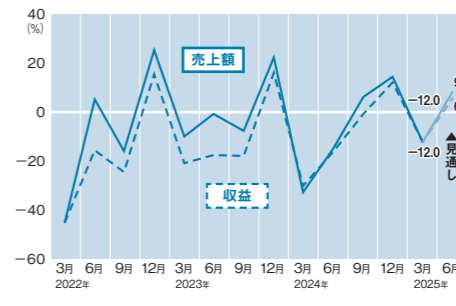


卸売業

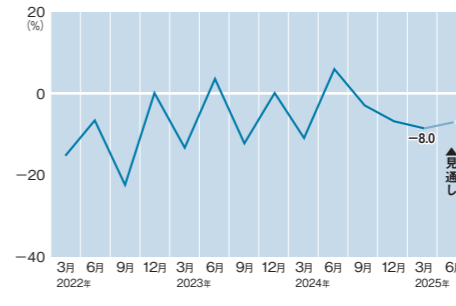
業況は大幅に悪化、
来期はやや改善の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは大幅に悪化、
収益D-Iも大幅に悪化



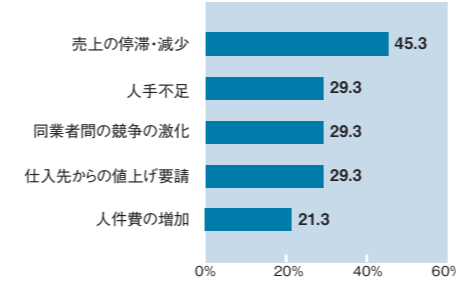
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは横ばい



10年間の推移(業況D-I)

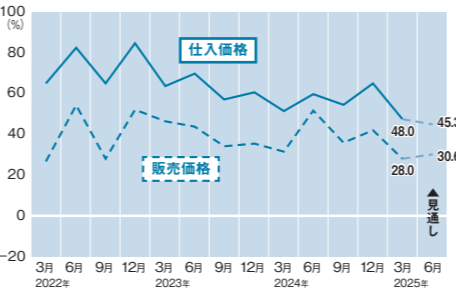
経営上の問題点

売上の停滞・減少が
一番の課題



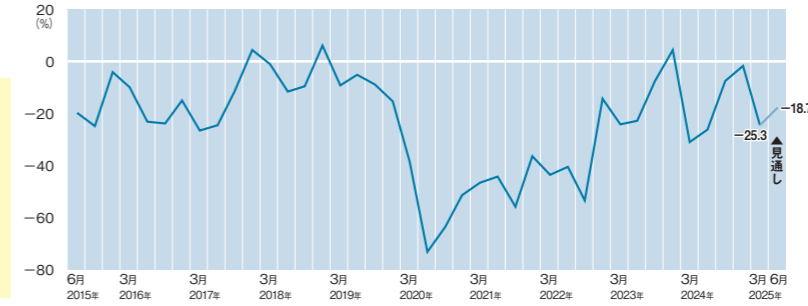
価格D-I

仕入れ価格D-Iは大幅に低下、
販売価格D-Iは低下



お客様の声

●SDGs、脱炭素推進の流れの中で原料である食用廃油の奪い合いとなっており確保と維持が課題。仕入価格の上昇により利益確保が難しく客数増加を目指していく。
(茨木市 油脂加工卸売業)

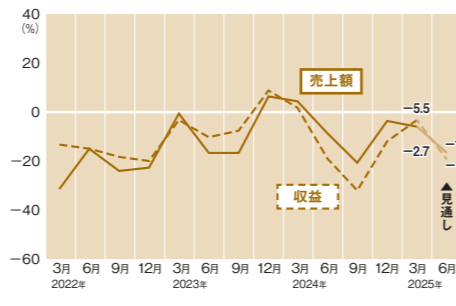


不動産業

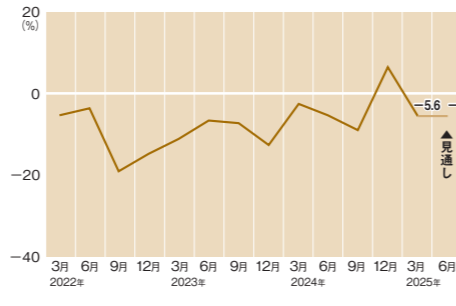
業況は大幅に改善、
来期はほぼ横ばいの見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iはほぼ横ばい、
収益D-Iはやや改善



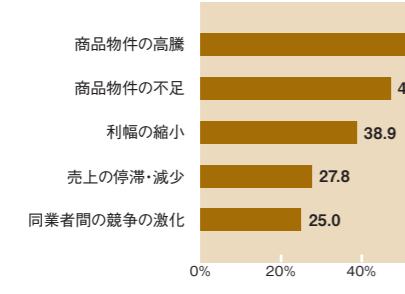
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは悪化



10年間の推移(業況D-I)

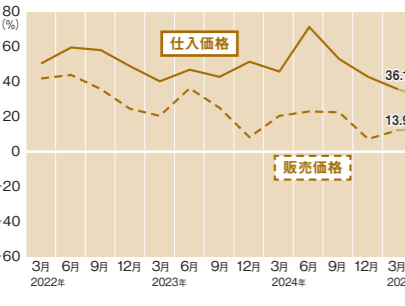
経営上の問題点

商品物件の高騰に加え
商品物件の不足が課題

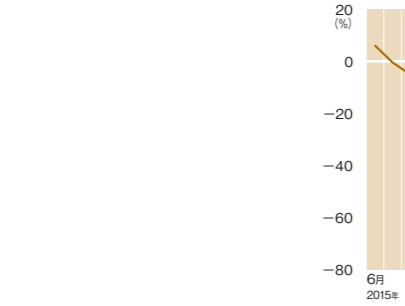


価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、
販売価格D-Iはやや上昇



10年間の推移(業況D-I)

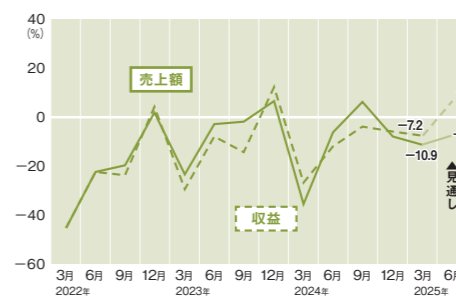


小売業

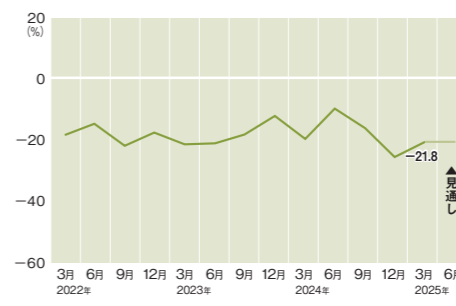
業況はやや改善、
来期は大幅に改善の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは悪化、
収益D-Iは横ばい



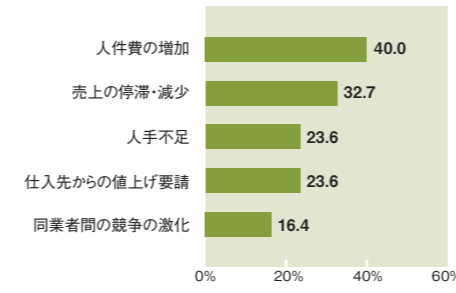
資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移(業況D-I)

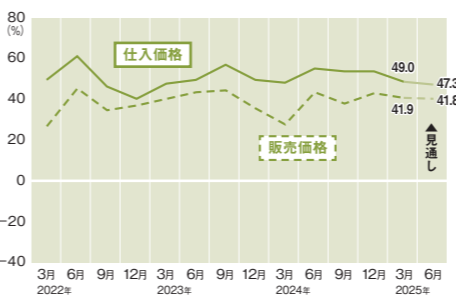
経営上の問題点

人件費の増加が
一番の課題



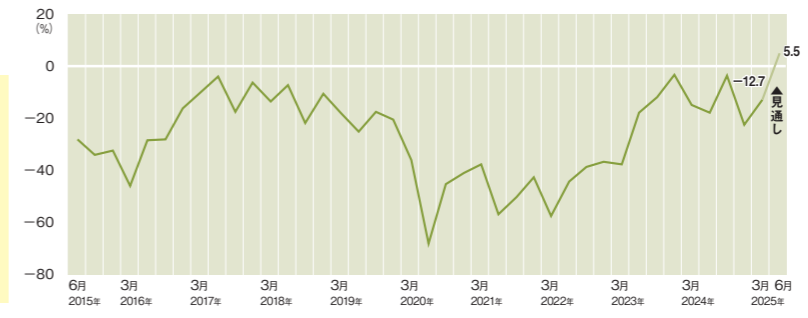
価格D-I

仕入れ価格D-Iはやや低下、
販売価格D-Iはほぼ横ばい



お客様の声

●金地金の高騰により記念品・贈答品などが予算オーバーで減少している。(大阪市 貴金属販売)
●周辺の企業が時給を上げるため、人材が集まらず困っている。(宝塚市 食品品販売)

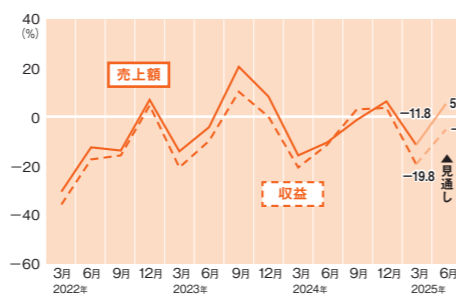


サービス業

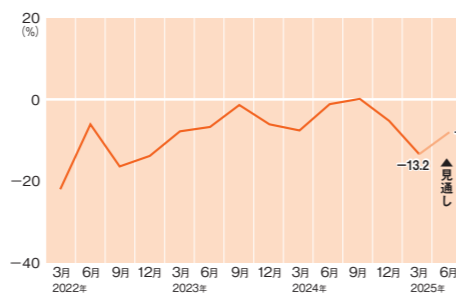
業況は悪化、
来期はやや改善の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは大幅に悪化、
収益D-Iも大幅に悪化



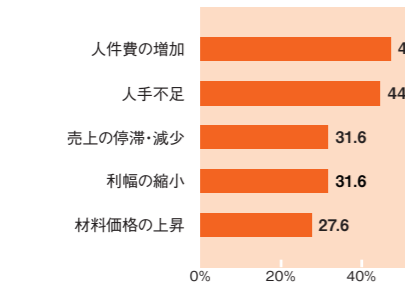
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは悪化



10年間の推移(業況D-I)

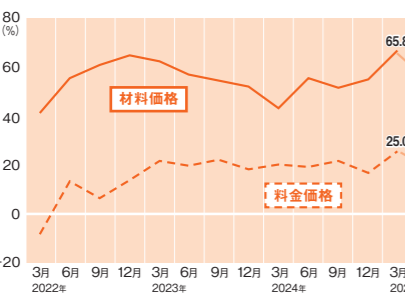
経営上の問題点

人件費の増加に加え
人手不足が課題

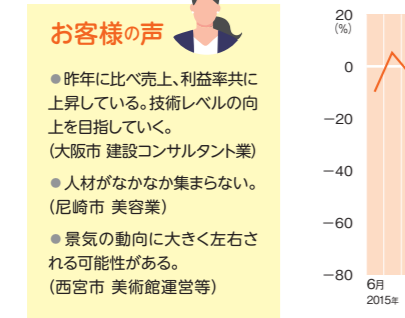


価格D-I

材料価格D-Iは上昇、
料金価格D-Iはやや上昇



10年間の推移(業況D-I)



お客様の声

●昨年に比べ売上、利益率共に上昇している。技術レベルの向上を目指している。(大阪市 建設コンサルタント業)
●人材がなかなか集まらない。(尼崎市 美容業)
●景気の動向に大きく左右される可能性がある。(西宮市 美術館運営等)